

# 学 習 の 指 針 (シラバス)

教科名	美術	実施学年	1年	週時数	1. 3時間
-----	----	------	----	-----	--------

## 1 学習の目標等

学習の目標	<p>(1) 楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく表現を高める。</p> <p>(2) 対象を見つめ感じ取る力や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や基礎的技能を身に付け、多様な表現方法や造形要素に関心をもち、創意工夫し美しく表現することができる。</p> <p>(3) 美術作品や色彩、材料などについて基礎的な理解や見方を広げ、よさや美しさなどを感じ取ることができる。</p>
使用教科書・副教材等	<p>開隆堂出版 美術1</p> <p>アクリルガッシュ (絵の具)</p>

## 2 学習計画及び評価方法等 <6月1日現在>

	月	学習内容	学習のねらい	備 考	評価の観点
第1学期	6	オリエンテーション	中学生時に学習する美術の内容と1年生の年間の学習内容を知る。	プリント	活動状況 (関心・意欲・態度)
		生活を豊かに「レタリング」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レタリングの役割を理解する。</li> <li>・レタリング「ゴシック体や明朝体」を描くことで文字の構造を学ぶ。</li> <li>・役割にあった文字をデザインすることができる。</li> <li>・レタリングの活用方法を理解する。</li> <li>・学級環境づくりにレタリングの活用方法を活かす。</li> </ul>	活字資料教科書	毎時の制作態度・持ち物 (関心・意欲・態度) 制作過程と作品 (技能)
	7	表現の広がり「様々な技法を学ぼう」 ・色相環図 ・混色 ・表現技法 ・イメージを形にしよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・画材の技法を学び、表現の工夫ができる。</li> <li>・様々な表現技法を学びながら自作を語る事ができる。</li> </ul>	参考作品教科書	毎時の制作態度・持ち物 (関心・意欲・態度)  制作過程 (意欲、発想・構想、技能)  完成作品 (発想・構想、技能)
		「自作を語る」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品を通して仲間を知る。</li> </ul>		ワークシート (鑑賞)
		ポスターで伝える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容などからテーマを生み出す。</li> </ul>	参考作品教科書	毎時の制作態度・持ち物 (関心・意欲・態度) 制作過程 (意欲、発想・構想、技能)
第2学期	9	ポスターで伝える (1学期の続き)			完成作品 (発想・構想、技能)
	10	「スクラッチアート」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りにあるものや自然物を観察し、形や陰影を意識して捉える。</li> </ul>	参考作品教科書	毎時の制作態度・持ち物 (関心・意欲・態度)

第2学期	11	「自作を語る」	・仲間が制作した絵画作品を鑑賞し、学ぶことで自分の作品に生かす。		制作過程(意欲、発想・構想、技能) 完成作品(発想・構想、技能) ワークシート(鑑賞)
	12	「彫刻動物園」	・形や色彩、材料を意識して動物を造形的にとらえ、対象のイメージを生かして表現する。	彫刻作品	毎時の制作態度・持ち物(関心・意欲・態度) 制作過程(意欲、発想・構想、技能) 完成作品(発想・構想、技能)
		日本文化に触れよう	・身近な日本文化を探し自分の言葉や感性でレポートにまとめる。	おせち料理、年賀状などの紹介	ワークシート(鑑賞)
第3学期	1	日本文化に触れよう	冬休みの宿題のレポートを基に仲間の発見を鑑賞する。	提出レポート	提出レポート(鑑賞) 発言(関心・意欲・態度)
	2	「彫刻動物園」(2学期からの続き)	・形や色彩、材料を意識して動物を造形的にとらえ、対象のイメージを生かして表現する。		完成作品(発想・構想、技能) ワークシート(鑑賞)
		「自作を語る」	・仲間が制作した絵画作品を鑑賞し、学ぶことで自分の作品に生かす。		ワークシート(鑑賞)
	3	「ステンシル」	・生活に生かせる作品を作る。	参考資料	毎時の制作態度・持ち物(関心・意欲・態度) 制作過程(意欲、発想・構想、技能) 完成作品(発想・構想、技能)

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術への関心・意欲・態度…事前の準備や制作態度、作品の完成度、忘れ物の有無、発言や発表の内容・態度、自己評価カード</li> <li>・発想や構想の能力…ワークシート、アイデアスケッチ、制作過程での発想・構想</li> <li>・創造的な技能…アイデアスケッチ、制作過程での技能的な工夫、完成作品</li> <li>・鑑賞の能力…鑑賞授業での発言・発表、鑑賞ワークシート</li> </ul> <p>(※今年度、話す活動については十分な配慮の上、実施していきます。)</p>
------	---

### 3 (1) 評価の観点及び内容

評価の観点及び内容	
美術への関心・意欲・態度	身近なもの、美術作品などのよさや美しさに対する関心を持ち、意欲的に美術の基礎的能力を身につけようとする。それを生かして楽しく表現や鑑賞の創造活動に取り組み、美術を愛好していこうとする。
発想や構想の能力	感性や想像力を働かせて、対象を観察し良さや美しさなどを感じ、用途や機能を考え、豊かに発想し構想する能力を身につける。形や色の構成などを工夫し、自分らしく心豊かな表現の構想をする。

創造的な技能	スケッチや形体・色彩の表し方など美術の基礎的スキルを身に付け、造形感覚や感性、想像力などを働かせ、表現意図に合う多様な表現方法を創意工夫し美しく表す。
鑑賞の能力	参考作品や友達の作品などからその良さや面白さ、美しさを感じ取ることができる。また、自分の作品についても考えをまとめられる。

(2) 観点別評価からの評定の算出の仕方

A=3点、B=2点、C=1点として4つの観点別評価を合計し、下の表に照らして評定を算出します。

評定	観点別評価の合計
5	12点
4	10～11点
3	7～9点
2	5～6点
1	4点